

# 愛媛産業保健総合支援センター 両立支援だより 2021年度 第2号

## 1. はじめに

日頃は、当センターの治療と仕事の両立支援事業に格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度、愛媛県内の病院や事業場による両立支援に関する取組など、様々な情報をご提供できればと思います。両立支援だよりを発行しております。

ご一読頂き、近況や御意見をお聞かせ頂ければ幸いです。



参加  
無料



## 2. おしらせ

### ○ 令和3年度 治療と仕事の両立支援シンポジウムのご案内

**テーマ：企業と医療機関、それぞれから支える両立支援**

令和3年度も両立支援のシンポジウムが開催されます。ご参加希望の方は、下記QRコードにてお申込み下さい。11月10日(水)より基調講演を配信しております。様々な専門家による両立支援の取り組み発表やオンライン交流会等も開催されます。LIVE形式ですので皆さんぜひご参加下さい。

#### 企業向けシンポジウム

LIVE 2021年11月17日(水)13:30～15:00

#### 両立支援コーディネーター交流会

オンライン 2021年11月17日(水)15:15～16:35

#### 医療機関向けシンポジウム

LIVE 2021年11月29日(月)16:30～18:00



ご参加御希望の方は  
こちらよりお申込み下さい



### ○ 両立支援カードのご案内

治療と仕事の両立で困っていませんが、治療と仕事の両立をサポートします。

無料  
TEL. 089-915-1911

愛媛さんぽセンターでは、両立支援カードを患者様や労働者の方に配布しています。両立支援は患者や労働者からの申し出から始まります。「相談する」ことは大変勇気がいります。ぜひこのカードを渡して相談窓口へのハードルを超えられるよう後押ししてあげて下さい。両立支援カードが必要な方は当センター担当者までご連絡下さい！

令和3年度 治療と仕事の両立支援シンポジウム  
企業と医療機関、それぞれから支える両立支援

参加無料

11月10日(水)より配信

基調講演  
治療と仕事の両立支援～職場関係者と医療者の連携～ NPO法人日本のケア・イン・アクト 代表理事 高橋 都 氏  
支援機関の立場からの両立支援の取組について 東京産業保健総合支援センター 副理事長 根岸 純子 氏  
両立支援～臨床中経験者が医療機関・企業に期待したいこと 公益社団法人日本臨床中級研修医会 川藤 弘之 氏

トークセッション～経験者が期待する支援とは～  
ユニバーサル設計 一般社団法人 社会的健康戦略研究所 代表理事 浅野 健一郎 氏  
企業 内閣府 働き方改革フォローアップ会 企画課 課長 労働者 若山 対談 藤田 企業アクションアドバイザー ボード 生稲 晃子 氏  
フリーアナウンサー・パラスポーツアンバサダー 大橋 未歩 氏

ライブ配信  
事例発表・パネルディスカッション 企業、産業界、医療機関関係者によるディスカッションをライブで配信します。

2021年11月17日(水) 13:30～15:00  
2021年11月29日(月) 16:30～18:00

両立支援コーディネーター交流会  
開催日時 2021年11月17日(水) 15:15～16:35

事前申し込み制

ポータルサイト「治療と仕事の両立支援ナビ」

愛媛さんぽセンターで治療と仕事の両立支援を担当しています。相談対応やセミナーの開催など様々なご要望にお応えします。今後とも宜しくお願い致します。

担当者：産業保健専門職 福田  
TEL : 089-915-1911  
Mail : sangyou-senmon@ehimes.johas.go.jp



# 愛媛労災病院さんの両立支援の取り組みをご紹介します！



## 1. はじめに



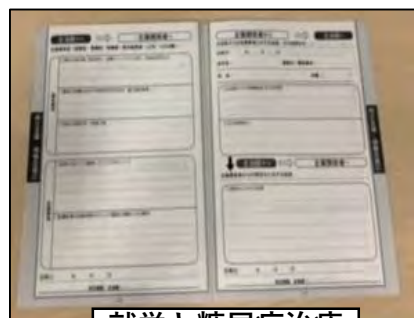
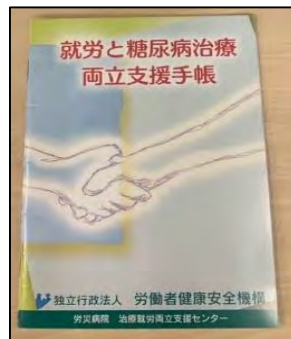
当機構では平成26年度より取り組んできた労災疾病医学研究から得られた成果を活用して、がん、糖尿病、脳卒中、メンタルヘルス、及びその他の疾病について、治療と就労の両立支援の実践により事例収集を行い、疾病分野ごとに中核的施設を定め支援事例の集積・分析・評価等に取り組んでいます。その実践により事例収集を行い、収集した事例を各疾病分野の中核的施設に提供し、それら事例も含め支援事例の集積・分析・評価等を行い、両立支援マニュアルの作成に取り組み、最終的には全国の労災指定医療機関等へ提供し普及することを目的としています。

## 2. 当院での取り組み



当院では、全疾患を対象とし治療を受けながら安心して仕事を続けられる環境作りを進める為の治療と就労の相談窓口を設置しております。事業者の方、労働者の方、患者さん、患者さんのご家族を対象に認定看護師や医療ソーシャルワーカーが面談・電話相談にて対応しております。糖尿病の患者様につきましては、写真の通り**両立支援手帳**を用いて、患者さん、事業者、病院間で交換日記の様なやりとりを行い、疾病の理解・緊急時の対応を事業者に依頼しております。

入院患者様につきましては、予定入院患者さんは入院前より共通の問診票を用い勤労者情報をデータベース化し、早期から両立支援を念頭に関わっています。当院では整形外科患者が多く整形外科の勤労者入院患者で両立支援の介入が必要と思われる方につきましては、病棟看護師から両立支援コーディネーターに連絡し、入院中に患者さんと面談を行い、同意を得て退院前に復職に向けて①現在の状況と今後の見通しについて職場に伝えることが出来る②復職時の状況と希望する支援を職場に相談することが出来る③復職に向けて自身の生活環境を調整することが出来るかを患者・リハ科・医療ソーシャルワーカー・病棟看護師・両立支援コーディネーターで**カンファレンス**（写真）を行い、退院後の外来受診時にも両立支援コーディネーターが面談を行います。必要時は医療者側、企業側、患者の3者で面談を行います。その他の疾患につきましても、病棟・外来看護師が両立支援コーディネーターと連携を図り、両立支援に取り組んでいます。



就業と糖尿病治療  
両立支援手帳



カンファレンスの様子



### \* 両立支援の面談件数

平成29年9月～平成30年3月は整形外科53件、他科129件、平成30年度は整形外科570件、婦人科（不妊治療）63件、糖尿病159件、がん患者22件、平成31年度は全診療科で205件、令和2年度は全診療科235件の実績となっております。

\* 平成27年より**治療就労両立支援委員会**を設置。毎月、両立支援活動の報告（同意の有無、業種・年齢・性別・診療科・支援内容・病棟・外来毎に集計）、支援方法や支援の効果等の意見交換等を行っています。平成30年からは愛媛産業保健総合支援センターとの連携を開始。



## 3. おわりに



これからも患者さんやそのご家族、労働者の方、事業者、当院職員等への活動の周知に努め、治療と就労の両立が当たり前の社会となるように寄与してまいります。